

シルエットによる猛禽類の識別入門

池子の森自然公園では青空を背景に飛んでいる鳥たちをよくみかけます。シルエットで見分けてみましょう。

トビ 白い紋がある



一番よく見かける猛禽類。ピーヒョロと鳴きます。死んだ魚などを食べますが生きた魚を捕らえることもあります。

ノスリ 尾がバチ型

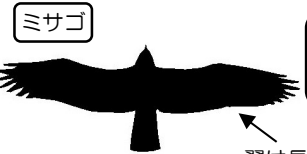


翼をV字にしてとぶことが多い



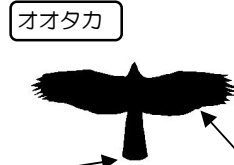
ネズミやヘビをよく捕らえます。池子の森では一年を通じて時折見られます。

翼は幅広 尾が扇型



大きな生きた魚をよく捕らえます。池子の森では池の上空を飛んでいるのをみることがあります。

翼は長い



ハトやムクドリなどの鳥類を捕らえますが、時にはモグラやバツタを食べることも。鷹狩りに最も多く使われた猛禽類です。

尾が長め 翼の後縁がふくらむ

チョウゲンボウ 翼の先がとがる



ハト大のハヤブサの仲間。スズメなど小鳥やネズミを捕らえます。崖に営巣しますが、鉄橋などで繁殖することもある。

全体にスマート

参考:カラスの仲間



頭が長い

翼は体の中央付近

猛禽類ではありませんが、飛んでいる姿をみることが多く大きさの目安になります。池子の森自然公園ではハシブトガラスとハシボソガラスの2種類がみられます。

早春の草花ミニガイド

池子の森自然公園では四季に応じた草花を楽しむことができます。ここでは主に早春(3~4月)に咲く花をあつめてみました。

ヤブツバキ

暖かい地方に多い常緑広葉樹で三浦半島では数多く自生しています。晩秋から初春にかけてピンク色の花を咲かせます。メジロやヒヨドリなどの小鳥が蜜を吸いに訪れます。



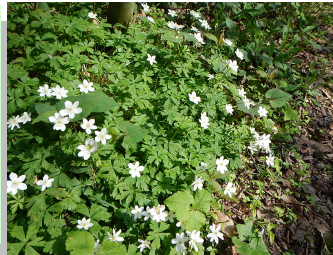
キブシ

春早くに花を咲かせる落葉広葉樹で、谷間の林のふちで多く見かけます。地味ですが淡い黄色のかわいらしい花です。



ニリンソウ

3月から5月にかけて、名前のとおり二輪の白い花を咲かせます。湿った谷間で見かけます。



キランソウ

散策路の道端や林のふちで春先に紫色の小さな花を咲かせます。濃い紫色が印象的です。



タチツボスミレ

早春の陽だまりでうす紫色の花を咲かせるスミレです。池子の森自然公園ではほかにもスミレの仲間がみられます。



~池子の森自然公園へようこそ~



平成 28 年 3 月 19 日

自然観察研修会



ポトギス(逗子市の花)



ヤマユリ(神奈川県の花)

逗子市池子接収地返還促進市民協議会

冬の植物



カントウカンアオイ



ヤブツバキ



カントウヨメナ



ツバキ



ムラサキ



タコノアシ

春の植物



フデリンドウ



タツナミソウ



ツルカノコソウ



ウラシマソウ



フシ



カントウタンポポ

【公園利用ルール 7 ヶ条】

1. 今ある自然を残すために生物を傷つけない
2. 車両の緑地エリアへの乗り入れはやめましょう
3. 花火、キャンプファイヤー等火気の使用はやめましょう
4. 池や小川のほか、立入制限区域に入るとはやめましょう
5. 危険の恐れのある行為や占有するような行為及び他人の迷惑となるような行為はやめましょう
6. ごみは必ず持ち帰りましょう
7. 米軍施設の写真撮影はやめましょう

池子の森の自然

池子の森は、長い間薪炭林としての利用や山野草の採取などが行われなかったことから、自然の遷移が進行しているととも、いまでは数少なくなった野草が豊富に見られます。尾根はコナラやヤマザクラなどの落葉樹にスタジイなどの常緑広葉樹が混じり、急斜面ではケヤキやイロハモミジなどの落葉広葉樹林が発達しています。

これらの樹木の中には大きくなっているものが多くみられ、池子の森の大きな特徴となっています。



秋の植物



イロハモミジ



ヒガンバナ

夏の植物



ケキツネノポタン



ハンゲショウ



タマアジサイ



ヤブカンソウ

